



落四の教育

学校便り 令和6年1月



新宿区立落合第四小学校
<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai4/>

「主体的・対話的で深い学び」の推進 校長 中里 満晴

1月の行事予定

穏やかな天気の中、令和6（2024）年が始まりました。

昨年、令和5年10月11日（水）、藤井聡太さんが史上最年少（21歳2ヶ月）で将棋のタイトル八冠獲得を達成しました。八大タイトルのすべてを藤井聡太さんが手にしたことになります。誰も成し遂げたことのない偉業です。

藤井さんは小さいころから将棋が大好きで、とりわけ「詰将棋」に夢中になっていたそうです。藤井さんはある対談で次のように話しています。

『詰将棋は解くときに、まず始めに問題の構造を把握することが大事になってきます。…それは、論理的に考えることだと思います。』（講談社刊「考えて、考えて、考える」より一部抜粋）主体的に考えることを小さい時から行っていたことがうかがえる言葉です。

また、対局が終わった後に「感想戦」というものがあり、対局した二人が様々な局面での最善手を模索して、話し合うそうです。『この場面ではどういう手が最もよかったのか』を対局した相手といっしょに振り返りをするのです。局面のとらえ方の違いや考えている手の違いが分かる面白さがあるそうです。学校での学習場面に置き換えると、友達と対話をしながら学習する場が浮かんできます。友達の考えや意見を聞き『自分の考えや意見と似ている（違っている）。』『どうしてそう考えたのだろう。』等と対話をしながら考えることで学びに広がりが出てきます。

藤井さんはAIも活用し、コンピュータからも情報を得ながら、日々将棋の研究をしているそうです。自分ではなかなか思いつかない手をAIが導き出してきたときは、それを参考にしつつもすぐに鵜呑みにせず、本当にそれが最善手かを自分で考えてみることをするのだそうです。自分なりに総合的に考えることを実践しているのです。

「主体的に考え、対話的に考えて、総合的に考える」ことにより『深い学び』になっていく。

この学びは今まさに求められているものです。子供たちにこの学び方が身に付くよう、教職員一同今年も励んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

日	曜	行事予定
1	月	元日（年のはじめを祝う日）
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	始業式 給食なし3時間授業（11:45下校） S.C.
10	水	給食始 計測
11	木	計測
12	金	計測
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 委員会 計測
16	火	こどもひろば連絡会 S.C.
17	水	特別時程4時間授業（13:00下校） 新教研生活科2-1、総合3-1公開授業（14:40下校）
18	木	
19	金	学校給食週間終 S.C.
20	土	
21	日	
22	月	全校朝会 クラブ 書初め展始
23	火	幼小連携(1) 社会科見学(5) 味噌作り(3) S.C.
24	水	5時間授業(3~6) 学校給食週間始
25	木	
26	金	書初め展終 落語(4) S.C.
27	土	
28	日	
29	月	全校朝会 クラブ
30	火	プラネタリウム(4) 巡回相談 学校給食週間終 S.C.
31	水	

避難訓練は予告なしで行います。